村民だより

No. 391

平成9年10月1日
東京都小笠原村役場
小笠原村父島字西町
電話 2－3111

平成9. 9. 1現在
住民基本台帳登録者数
世帯　1，247
父島　1，033
母島　214
人口　2，296
父島　1，876
母島　420
短期滞在者
人口　69
父島　46
母島　23

8月の気象（父島）
平均気温28．5℃
最高気温32．3℃
最低気温24．6℃
平均湿度　78％
月降水量　89．3㎜

友好都市山梨県櫛形町訪問

七月二十四日から八月二日にかけて、父島・母島の中学生十六名が親善大使として、友好都市であります山梨県中巨摩郡櫛形町に訪問してきました。

道中、船の遅れやいろいろな事がありましたが、皆立派に大使としての友好を深めてきました。

以下十六名の訪問記です。

大変遅くなりましたが、お世話になりました櫛形町の皆様にこの場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

小笠原村教育委員会

櫛形交流を終えて

小笠原中学校　一年　磯部　勇人

「ボー。」

おがさわら丸の上でこの音を聞くのは一年振りだ。でも船酔いはまだ治っていないようだ。そんな気持ちで船室へ戻った。船に乗っている間、自分はずっと弱気な気持ちになっていた。今思うと情けない。

船室内のほとんどの人が遊びに出ている。僕もと思うが力が出ない。残っている人もゲームをしている。

そして消灯の時間が来て電気が消え、知らないうちに眠っていた。

翌日は、昨日と似た感覚にずっと襲われ、そして船も遅れ夜の九時三十分にようやく竹芝に着いた。船を降り島しょ会館に行き、お風呂に入った。

今年初めて乗るエレベーターで食堂へ行き、到着が遅れたことを島しょ会館の人に説明して、皆で楽しく食事をした。

食事が終わった後、またエレベーターで自分の部屋へ帰り、あっという間に寝ると思っていたが、テレビを見たり、話をしたりで盛り上がってしまい、なかなか眠れなかった。

そして交流初日。

やっとの思いで着いた櫛形中。ブラスバンド部が素晴らしい音楽で出迎えてくれた。去年の小笠原中はどうやって出迎えをしたのだろう。

言葉を交わしあい、交流のバーベキューが始まった。どこに座ろうと猪村君と席を決めていた。

みんな集まって始まったが、最初の方は櫛形は櫛形でという形で話をしていたけど、だんだん話があってきたのでいろいろな人と話ができ、最後にはふざけあったりもして記念の写真を撮ったりもした。

交流の翌日、清里へバスで向かった。結構寒い。そういえば山梨に来てまだ一度も暑いと思っていない。

すごい霧の中、スキー場に着いた。

お昼を食べた後、リフトに乗る予定が霧のため乗れず、その変わりに一時間の自由時間があり、櫛形中の友達と一緒にゲームをしたりした。あっという間に一時間が過ぎ、またバスに乗り宿へ戻った。

その日の夜は櫛形町長主催の夕食会でバイキングを食べた。

隣の女子にマナーについて言われた。僕のとなりの男子の方が、と言いたかったけれど止めた。

いろいろな思いをつめて櫛形交流が終わった。ここに書ききれないほどの楽しい経験をさせてもらった。

櫛形中と小笠原中との交流

小笠原中学校　一年　加賀谷　真徳

七月二十七日の日曜日、ついに櫛形中学生と小笠原中学生との交流の日が来ました。

僕らが四時ごろバスで櫛形中学校の広場に出たとき、突然ブラスバンドでのお出迎えをしてくれてうれしかったです。

ブラスバンドの演奏が終わって対面式を始めて代表の生徒が話をしてるとき、僕はすごい学校だと思いました。それはいろいろな部活動で金賞銀賞などをもらっていてスポーツの盛んな学校と聞いたからです。

そして代表の生徒の話が終わって対面式が終わり、櫛形中学校の先生方がバーベキューをどんどん焼いて持ってきてくれて、櫛形中学校の生徒と盛り上がってしまいました。

バーベキューでごはんを食べているときに、みんなでふざけて、変な飲み物を作って飲ませられたからそのバーベキューのあと体全体が少し変な感じがしました。

その後、まだ体の中その飲み物の感覚が抜けずにいました。

次の日、僕達は八時三十分に伊奈ケ湖のウッドビレッジを出てバスで櫛形中学校に着き、また櫛形の中学生と一緒にバスに乗って山梨のスキー場へ行きましたが、霧がすごくて何も見えませんでした。

また、バスに乗って二時間ぐらい経ってやっと宿舎のウッドビレッジ伊奈ケ湖に着きました。

僕は最後の別れがつらかったです。

翌日、僕はまた櫛形中学校を訪れると、別れの決心をして櫛形中学校をあとにしたのです。

次また山梨県の櫛形中学校に来るときは、今回経験したこの思い出とこの交流でお互いに過ごしたぬくもりを持って来たいと思います。

来年以降中学生になる櫛形、小笠原両方の人達にも教えていってあげたいと思います。

またこの櫛形中学生と小笠原の中学生との交流会があったらぜひ参加したいと思います。

楽しかった櫛形交流

小笠原中学校　一年　伊藤　美海

七月二十四日、私達は櫛形交流会のため船に乗った。船の中で誰かは知らないが行方不明になった人が出た。本当は二十五日の三時半に竹芝に着くはずだったのに、なんと夜の九時四十分についてしまった。それから島しょ会館へ行って、ごはんを食べて、お風呂に入って寝た。

そして一日目。島しょ会館を出て、電車に乗って、山梨県の櫛形町に向かった。山梨についたら、少し町の中をバスで案内してもらい、お昼には、「ほうとう」を食べましたが、すごく量が多くて少し残した。

次に、桃を販売に出すために選別している工場を見に行った。一個桃をもらって食べた。すごくおいしかった。

二日目。櫛形町の美術館に行って、一人三個まで桃をとることができて、私は一個は食べて、あとの二つは持って帰った。

そして宿「ウッドビレッジ伊奈ケ湖」に着いてから櫛形中の生徒たちと、バーベキューがあるので、ちょっと休んでから櫛形中学校に行ってバーベキューををして交流をした。私達の席には男の子が座った。その中の一人が猿岩石の有吉君にそっくりでびっくりした。それから、女の子とも男の子とも友達になれた。それから宿へもどった。

三日目は、櫛形中学校の子たちと一緒に清里に行って、ソフトクリームを食べて、お土産などを買って、櫛形中の子とプリクラをとったりして楽しかった。

スキー場でリフトに乗りたかったけど、天気が悪いためリフトには乗れなかった。そして宿に帰った。

そして櫛形での最後の日。

櫛形の役場を訪問して、櫛形中の人達とお別れをして、甲府駅に行き、電車に乗って、島しょ会館に帰った。

そして櫛形から帰って来た翌日。

今日は、みんなでディズニーランドへ行くために、電車に乗って、ディズニーランドへ着いた。が、しかし、外はものすごい雨。だけ

ど私達はかさを持っていなかったので、かさを探して買ってさしながら、いろいろな乗り物に乗ったり、買い物でお土産を買ったりして、ディズニーランドで半日過ごした。（あの雨の中で）

それで、集合時間を早めにして島しょ会館へ帰った。

それからお風呂に入って食事をして、寝た。

そして七月三十一日、最後の日。今日は朝から昼過ぎまでグループごとに、好きな所に行きました。私達のグループは池袋に行って、アニメイトやサンシャインに行って少し買い物して、昼はマクドナルドに行って食べて、島しょ会館へ帰った。

それから、竹芝へ行き、おがさわら丸をむかえて、家に帰りました。

すごく思い出深い櫛形交流でした。楽しかったです。

櫛形町親善交流に参加して

小笠原中学校　一年　上條　鶴子

私達は、七月二十六日から七月二十九日までの四日間、櫛形中学校の人達と交流をしてきました。

一日目には、新宿駅発の「あずさ八十三号」に乗って、甲府駅に行きました。その途中、東京から離れていくに連れ、森林が多くなってきました。小笠原には無い植物ばかりなので、めずらしく思いました。

甲府駅に着くと、櫛形町の役場の人が出迎えに来てくれていました。そして、バスに乗って美術館や神社を見てまわったり、昼にほうとうという、太いうどんみたいなものを食べさせてもらったりしました。

この後、櫛形中学校に行って教育委員会の方や櫛形中学校の代表の人達とあいさつをしました。

そして町内の施設見学をしてから、宿舎へ向かいました。

この日は昭明館という宿に泊まりました。

二日目は、天候が悪かったため、予定してあった櫛形山の展望ができなくて残念に思いましたが、そのかわりに県立美術館にいくことになりました。美術館には、ミレーの絵が飾ってありました。ほかにも一般の人の作品が飾ってあったりして楽しかったです。

その後、神社に行ってお参りをしたり、水晶の売っている所に行ったりしました。

午後からは、昼食を食べた後、施設を見学して、その後に桃狩りをしました。木には、とてもたくさんの桃が実っていました。

桃狩りを楽しんだ後、私達は櫛形中学校で交流バーベキューをしました。そして交流バーベキューが終わった後、宿に行きました。

宿は、ウッドビレッジ伊奈ケ湖という所で、山奥にある宿でした。

三日目には、山梨県内めぐりをしました。

県内めぐりには、櫛形中学校の人も数名一緒でした。

私達は、バスで宇宙観測所に行って大きなアンテナを見たり、キッツメドウ大泉清里スキー場で食事をしたりおみやげを買ったり、清泉寮で名物のソフトクリームを食べたり、清里の駅前で買い物をしたりしました。友達もできてうれしかったです。あとスキー場には、霧がかかっていて、あたり一面真っ白でした。

宿に帰った後、宿のレストハウスで、櫛形町の町長主催の歓迎会がありました。そこで、夕食をごちそうになりました。

四日目、私達が帰る日は、櫛形中学校と櫛形町の教育委員会の人にあいさつに行きました。

そして、今回の親善交流は終わりました。

今回の交流で、友達ができて、めずらしい所も見ることができました。親善交流に参加できて本当に良かったと思っています。

櫛形町へ行って

小笠原中学校　一年　花田　晃子

船の中ではまあふつうに過ごせた。寝て起きたら薬が切れたせいか、酔ってしまった。薬を飲み直して、一、二時間後にまたきいてきてすぐに直った。

しかし、一人行方不明がでて、船が引き帰し、竹芝には夜の九時三十分に着いたので少し疲れた。

次の日電車に乗り、いろいろと見てまわり昼食は、ほうとうを食べた。そのあと、宿に行き夕食を食べた。

次の日は、櫛形中の人達とバーベキュー交流をし、友達も三～四人できた。三日目は、櫛形中の人達といろいろとまわった。

四日目はお世話になった櫛形の人達にお礼を言い、スーパーあずさに乗って帰ってきた。

翌日は、ディズニーランドへ行った。最悪なことに雨が降り人気アトラクションだけに行って帰ってきた。雨のせいで靴もビショビショになってしまった。

六日目は自由時間で銀座に行った。雨が降りそうだったのでかさを持っていったけれど雨はふらなかった。

午前中はショッピングをして昼食は、ロッテリアに入った。

午後はゲームセンターで遊び、浜松町に帰り、竹芝桟橋に行き、お姉ちゃんに迎えに来てもらって、約七日間の日程が終わりました。

櫛形町はとっても楽しく過ごせましたが、櫛形町以外でも友達との夏休みの思い出が作れとても楽しく過ごせました。

友達がいっぱいできた

櫛形町での交流

小笠原中学校　一年　守歸　智佳子

七月二十四日。私達は櫛形町交流のため、船で東京に行きました。その時台風が近づいていて、船は大ユレでした。「人は行方不明になるし：」そのようななかでやっと竹芝に着きました。

七月二十六日、いよいよ櫛形町に出発しました。

初めて行った櫛形町は、自然がいっぱいでとてもびっくりしました。

山梨県の名物「ほうとう」と言う、カボチャや、じゃがいも、にんじん、さといも、なまめんなど、色々なものが入っていてとても美味しかったです。

その次に、桃を販売するために選別する工場を見学して工場の人が桃をみんなに一個ずつくれました。とても甘くて、やわらかくて：ほっぺが落ちそうでした。

この日泊まる所は、昭明館です。

七月二十七日。みんな楽しみにしていた桃狩りです。みんな楽しく桃をとりました。

その後、櫛形中学校のみなさんとバーベキューで交流をしてお友達をたくさん作りました。

今日はウッドビレッジ伊奈ケ湖と言う、コテージに泊まりました。

そのコテージの名前が一つ一つ違い、名前はかしの実、どんぐり、しいの実、くる実、まつぼっくりと、みんなかわいらしい名前です。

次の日の朝みんなで「寒い～！」と言っていました。その日は、あいにく雨が降っていて気温が十六度という寒さでした。

朝は朝ですてきな料理を食べて幸せです。

朝食をとった後、すぐにバスで櫛形中学校のみなさんと、清里に行き、お買い物をしました。

また夜は夜で櫛形町の町長さんと一緒にフランス料理のバイキングを食べて、またまた幸せでした。

最後の櫛形町。この日は櫛形町のみなさんとお別れです。櫛形中学校のみなさんとお別れをして、その後、村役場に行って町長さんにあいさつをして、役場や教育委員会を見学して、バスに乗って甲府駅まで行き、帰りました。

色々なことがあったけど、櫛形町に来て良かったです。自然がいっぱいで、櫛形中学校のみなさんはとてもやさしくて、面白いし、来てよかったです。また櫛形町に行くことができたらいいと思います。

櫛形町との交流

小笠原中学校　二年　猪村　幹

僕たちは、櫛形町と交流をして来ました。

櫛形町に着き、バスに乗りながらおどろきました。バスの窓から桃の木がいっぱい見えて、桃の木には桃がたくさんなっていました。

そしてその日には町内見学をしました。桃の他にもキウイフルーツやぶどう、かきの木もありました。一年中果物のなっていそうな所で本当にいい所だなあと思いました。

そして桃を箱づめする工場を見学をして、そこで桃を食べさせてもらいました。

櫛形中学校であいさつをして、そのあと町内にある春仙美術館へ行き、そこで浮世絵版画のことを聞き、版画の実習をしました。

次の日はお寺へ行き、特産物があるという所へ行っておみやげを買いました。

その後、町内施設（プールなど）をまわり、桃狩りをしました。

そして一度宿へ行き、荷物をおいて櫛形中学校で交流会やいろんなことをしてもらいとても楽しかっ

た。
この日から雨っぽくなり始めました。
三日目はバスにずいぶん長く乗り、霧の中を走りスキー場へ行き、そこでリフトへ乗るはずが、霧のせいでできなかったので、東大宇宙観測所へ行き、パラボラアンテナを見て、ずいぶん大きいんだなあと思いました。
そして清里へ行きソフトクリームを食べました。（このお店は有名ですごく並んでいました。）
そして、清里駅前で買い物をして櫛形中学校へバスで行き、宿に戻った。宿に戻って少ししたら櫛形町長主催の歓迎会があり、また櫛形中学校と小笠原中学校との友情が深まったと思いました。
そして、最後の日。町役場と櫛形中学校へ行き、別れのあいさつなどをして別れました。

櫛形町での交流

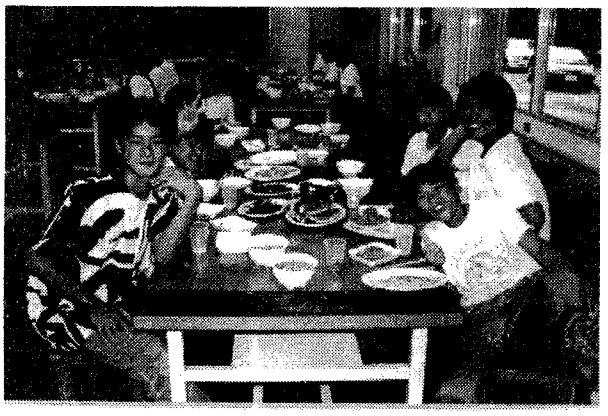
小笠原中学校　二年　奥原　茂

僕は初めて櫛形町に行きました。櫛形町に来て思ったことは、畑（ぶどう、桃）がたくさんあるんだと思いました。小笠原とは違う環境の所に来たので、この場所をいろいろと知りたいと思いました。
一日目は、櫛形中に行って対面式があり、僕は訪問団代表のあいさつの時に緊張をしてしゃべる事をトチってしまいました。それが一日目の恥しかった思い出でした。
二日目は、桃狩りをして、夕食は櫛形中でバーベキューをしました。そこで友人ができました。
みんなおもしろい人ばかりで話していて楽しかったです。この日から泊まったウッドビレッジは、山の中のコテージで、とてもきれいで水がきれいで冷たくおいしかったです。山の中に泊まるのは久し振りで感動してしまいました。
その夜はみんなはしゃぎまくって、夜寝る時間が遅くなってしまい、寝坊をしてしまい朝食に遅れてしまいそうになりました。
三日目は、朝ごはんを食べた後にバスに乗り櫛形中の生徒と合流して清里に向かいました。
清里まではすごく時間がかかり、途中で休みをとりました。そこで、のどがかわいたので飲み物を買いに行ったら、霧がすごくとても寒かったので焼きおにぎりを買いました。
再出発をして数十分後、いろいろなアンテナがあるところに行き、そこで大きなパラボラアンテナを見ました。
もう昼どきでごはんを食べました。その後清里に行きました。いろいろなおみやげ品があり、今日が最後のおみやげを買える日だったので、思いっきり探しまくりました。そこでやっと一つの店を見つけました。そこには、牛グッズや巨峰味の食べ物があり、そこでおみやげを買いました。
そのあとまたバスに乗り櫛形中に戻りました。櫛形の生徒とはここで最後なので住所を聞いて別れました。この日はいろいろと歩きまわったので、すごく疲れた一日でした。
今日は櫛形での最後の日、町役場の見学に行き、十一時に駅に行き買い物をした後、十二時十分に甲府を出発しました。
この櫛形交流でたくさんの体験をしました。その中で「山」というものに興味をもちました。この一週間とても充実した時間でした。

櫛形交流

小笠原中学校　二年　吉田　光

僕は、櫛形中学校の人達と交流することになって、夏休みに父島母島のメンバーと山梨に行くことになりました。
はじめは今年の夏休みはおもしろくなりそうだと考えていたのですが、船の中で引率の人の話を聞いたりして、かなり大変だと思いました。
東京に着いてから、一日泊まって山梨の櫛形に向かいました。櫛形町の施設を見学をして櫛形の中学生と交流をする時になって、どのように自己紹介をすればいいか考えたのですが、結局その日は自己紹介はしませんでした。
櫛形中の人達とバスで山に登りました。山の上は霧がすごくて景色はあまり見えませんでした。それにすごく寒くて山の上はこんなに寒いんだなと思いました。
山から降りて、大きなパラボラアンテナを見に行きました。
櫛形中学校の人達は、僕達が緊張しているのに気がついたみたいで、僕達の緊張をほぐしてくれました。
櫛形中の男子とは話ができたのですが、女子とはあまり話せませんでした。
短い間の交流だったけど、いろいろな思い出を作るために頑張りました。
また、櫛形から帰ってきてから東京ディズニーランドに行った時は大雨でした。僕は初めてディズニーランドに行ったので、みんなと一緒に行動しました。いろいろなお土産やグッズがいろいろ売っていました。



乗り物もおもしろい乗り物やこわい乗り物がありました。僕達が乗ったのは、スペースマウンテン、スプラッシュマウンテンなどいろいろな乗り物に乗ってみんなと楽しみました。
その日は大雨だったので、ディズニーランドの人手は少なくてみんなが言うには、すいていてラッキーと言っていました。
お昼ごはんは、雨の中ディズニーランドのピザを食べました。四時頃友達とはぐれたりしてみんなを探すのに、びしょびしょになってしまいました。そして四時三十分ぐらいにみんなと島しょ会館に帰りました。次の日に竹芝で解散しました。
いろいろ僕にとって楽しい思い出ができて楽しかったです。

櫛形町と交流をして

小笠原中学校　二年　伊藤　有華李

櫛形町へ行った三泊四日という長いようで短い時間。私はそこで小笠原ではできない貴重な体験と沢山の楽しい思い出づくりが出来ました。
名物「ほうとう」を食べたり、春仙美術館や県立美術館を見学したりいろいろな所へ行きました。
その中でも私が特に心に残った思い出は、桃狩りをしたことと櫛形中学校の生徒と交流をしたことです。
桃狩りは初めてだったので前からとても楽しみにしていました。
桃の木には沢山の実がなっていて、その桃の木から気に入った実を自分で取ってそのまま食べます。
桃は皮が一番美味しいそうです。
取りたての桃はとても甘くて美味しかったです。機会があればまた行きたいです。
櫛形町に来て二日目、私達は櫛形中学校の生徒と交流するために櫛形中へ行きました。
櫛形中の生徒は、私達をブラスバンドで迎えてくれました。みんな息がピッタリ合っていて、一生懸命練習しているのが伝わってきました。とても上手でビックリしました。
そうして歓迎を受けた後、みんなでバーベキューをしました。最初は恥ずかしくてなかなか櫛形中学校の生徒といっしょに話せませんでした。でもそうしているうちに、櫛形中の生徒が話しかけてきてくれていろいろな話が出来ました。みんないい人ばかりでとても楽しい時間が過ごせました。
櫛形町交流も終わりに近づいてきました。
最後に櫛形中学校へ行き友達になった人とまた会う約束をしてバスに乗りました。
私は櫛形町に来て本当によかったです。小笠原に負けないくらい自然が豊かで人々が親切で本当にいい思い出が出来ました。
こういう機会を与えてくれた櫛形町と小笠原村に感謝したいと思います。

櫛形町交流の感想

小笠原中学校　二年　宮崎　薫

七月二十四日、櫛形町を訪問するので、船に乗った。船は次の日の、夜九時三十分頃着いた。そして次の日、山梨へ向かった。
電車の中から、ずっと外を見ていた。そうしたら甲府駅に近づくに連れて、自然が多くなっていくのがわかった。甲府駅に着いたら、東京と違って空気がきれいだと思った。
その日は、桃を箱詰めして配送する所を見せてもらった。そこで、桃を食べさせてもらった。すごく甘かった。そのあと町内見学をしていて思った事は、櫛形の人が優しい事と自然が豊かな事でした。
二日目は、美術館へ行ったり桃狩りをさせてもらった。桃は、ちょっとかたかったけど甘かった。
夕方、櫛形中学校のみんなとの交流会をした。友達ができるかすごく心配だったけど、四人もできた。やっぱり櫛形の人は優しかった。もっともっと遊びたかった。
この日は、ウッドビレッジ伊奈

ケ湖という所に泊まった。山だったから寒かったけど、小笠原みたいに自然が多いからうれしかった。

三日目、櫛形に来てからずっと天気が悪い。今日は、櫛形中の生徒と一緒に八ケ岳方面へ行った。だけど霧がすごくて何も見えなかった。しかもその日の気温は十六度。ものすごく寒かった。

その後は、清里で買い物をした。ここの人もいい人ばかり。

櫛形中の生徒と別れて夜は、櫛形町長主催の夕食会をした。食事もすごくおいしかったし、楽しかった。

四日目。交流会最後の日。

櫛形中学校に行って、友達と写真を撮ったり、住所を交換したりした。三泊四日という短い間だったけど、とっても楽しかった。

四日間とも天気は良くなかったけれど、櫛形町は自然も多くて、町の人も優しくて、なじみやすかった。櫛形町との交流は、これからもずっと続けてほしいと思う。

櫛形町交流に参加して

小笠原中学校　二年　山田　礼子

私が櫛形町に行って、感じたことと、思ったことは、同じ小笠原の名でもまったく違った所で、千キロも海を渡らなければ内地に行けない所にあります。だけど、その海の向こうにある小笠原は、木がたくさん生えていて山に囲まれたところでした。

海に恵まれた小笠原と山に恵まれた小笠原。このまったく違った小笠原でも共通点があります。それは、どちらとも自然に恵まれていると言うことです。

このように似ていないようで似ているもう一つの小笠原のある櫛形町に行って、私はいろいろなものを見てきました。

まずは、美術館を見ました。私達の小笠原にはない美術館を見て、私はすごく楽しい思い出が出来ました。

次に、櫛形総合コミュニティープールを見ました。

私達は、ふだんは海で泳ぎ、プールで泳ぐなど水泳の授業でしかないので、室内プールに何か違和感を感じました。でも水を見て泳ぎたいという思いがありました。

七月二十八日、清里という所に行く時、雨に降られ霧につつまれ十メートル先もなかなか見えないくらいすごく、しかも気温が十六度という寒さにおそわれました。私達の所では、夏に十六度などとても考えられないので、びっくりしました。

次の日、とうとう櫛形町を去る日が来てしまい、私はまた櫛形町に行きたいなと思いながら東京に帰りました。

今度の交流のときは、見学ばかりではなく、櫛形中学校の生徒とスポーツなどで交流してみたいなあと思いました。

櫛形町に来て

母島中学校　一年　浅沼　ひとみ

台風のおかげで三十時間も船に乗って櫛形町と交流に来ました。

竹芝に着いた翌日の十時四分に「あずさ八十三号」に乗って櫛形町に行きました。約一時間半ぐらい乗って櫛形町に着きました。その後バスに乗り、お昼ごはんを食べに行きました。そうしたら生徒は一人しかいませんでした。他の人達は部活動をしていて、櫛形中代表として一人きていたそうです。

代表の方があいさつをしてからまたバスに乗って今度は桃を箱につめている所を見学して、春仙美術館に寄って宿舎へ行きました。

翌日、予定では櫛形山に登るはずだったけど天候のせいでだめになり、美術館やプールなどの見学をして、昼ごはんを食べてから、もも狩りに行きました。ももは一人三個ずつとりました。とってもあまくておいしかったです。

そして次は、櫛形中学校との交流でバーベキューをやる時間なのです。再び櫛形中学校に行きました。

中庭に入るとみんなが音楽でむかえてくれました。そのあともう一曲聞かせてもらいました。曲はV6の曲で「愛なんだ」を演奏してくれました。とても上手でした。

そのあといろんな話をしてから記念にうちわとTシャツと下じきをもらいました。

しばらくして雨が降ってきたので教室の中で食べることになりました。私といっしょに座ったのは、母島の全員と父島の山田礼子ちゃんと櫛形中学校から2人で、座って話しをしながら食べていました。

食べ終わって話をしていると手帳に名前と住所を書いてと言われて書いたけどその子の名前を聞き忘れたまま宿舎に帰ってしまいました。

そして翌日、バスに乗って山梨県内めぐりに行きました。もちろん櫛形中学校も一緒でした。二時間ぐらいバスに乗って目的地につきました。ほんとうはそこでリフトにのるはずだったけれど、霧がすごかったので昼ごはんを食べて、お土産屋で買い物をし、清里駅前までバスに乗って買い物に行きました。

買い物に行く前に「櫛形中学校の生徒といっしょに行って下さい。」と言われたけど友達がいなかったし、もうすでに誰もいなかったので四人で行きました。

そして帰る日になりました。バスに乗って櫛形中学校に行く前に町役場に行きました。お礼を言って中学校に行きました。

櫛形中学校についたら、見送り式をやって、櫛形中学校の人と父島は手紙を渡してたりしてたけど私達は、櫛形中学校の先生達にお礼を言ってバスで駅に行って「スーパーあずさ六号」に乗って東京に帰りました。

今度また、交流があったら今度こそ仲よしの友達を作りたいです。そして楽しく過ごしたいです。

櫛形町交流

母島中学校　一年　伊豆　由紀子

私達母島四人は櫛形町交流に行くために、本当は、七月二十四日に出るのが二十三日のははじま丸に乗って行きました。次の日に、おがさわら丸に乗って揺られながら、時間も遅れて東京に着き、次の日に「あずさ八十三号」に乗って櫛形町に着きました。

私は、櫛形というところは、私が思っていた所とは全然違いました。櫛形に着いたら、バスに乗っていろいろと紹介してもらい、お昼ごはんは、ほうとうという普通なら注文してから三十分かかるという名物のうどんを食べました。とてもおいしかったです。また食べたいです。

そしてバスに乗って、宿舎（昭明館）に行き、みんなで遊びました。

夜の食事はカレーでした。カレーは、前日島しょ会館の夜の食事もそうでした。食べ終わって鶴田さんが、宿の向かいにあるスーパーに行っていいと言ったので、母島の四人で行きました。私は、本と世界一小さいカメラと傘を買いました。

翌日は朝食を食べ、櫛形町の美術館を見学し、またバスに長く乗って、昼食を食べて桃狩りに行きました。色のきれいなものを三個取りました。私は、その内の一個を食べました。でも固かったです。

夜は、櫛形中とバーベキューをしました。焼きそばなど、とてもおいしかったです。この日の宿泊はウッドビレッジ伊奈ケ湖でした。

私達母島四人と、佐藤さんと一緒に、すごく広い所で寝ました。ふとんもふかふかで寝やすかったです。

次の日の朝は、とってもおいしい朝食でした。この日は、櫛形中の人と山梨県内めぐりをしました。

でも天気が悪くて寒かったです。しかもバスに長い時間乗っていました。

でもお昼ごはんはおいしかったです。

夜は櫛形町主催の夕食会に出席しました。とってもおいしかったです。最後に食べたケーキが一番おいしかったです。

最後の日は、町役場に行きいろいろな所を見学させてもらいました。その後、櫛形中学校に行き私達が母島から持って来たハカラメを渡してお別れをし、またバスに乗り、「スーパーあずさ六号」に乗って帰りました。

私はこの櫛形町との交流に来てよかったです。

櫛形交流

母島中学校　一年　稲垣　美佳

担任の吉崎先生から話を聞いて私は、行ってみたいと思いました。さっそく友達を誘って、一年生の女子四人で行けることになりました。

せっかく交流をするんだから母島からも、何か小笠原らしい物を、お土産に持っていこうと思い、ハカラメを用意しました。交流の他にも、どんなことがあるかとても楽しみでした。

七月二十六日、島しょ会館を出発し、新宿駅から「あずさ八十三号」で櫛形に向かいました。ビルばかりの街並みはすぐに消え、山

櫛形中との交流

母島中学校　一年　鎌田　優

やトンネルばかりが続き、二時間足らずで甲府駅に着きました。

昼食は、小作というお店に行って、ほうとうを食べました。あったかくて、とても美味しかったです。午後は町内を見学してまわりました。

町の中には、桃やぶどうの畑がたくさんありました。母島では、住宅地と畑とが離れているけれど、ここでは一緒になっていたので驚きました。

桃の出荷場にも行きました。おじさんやおばさんがたくさん働いていました。桃のおいしそうな匂いがいっぱいしていました。そこで、みんなで桃を一個ずつもらって丸かじりをして食べました。

二日目の午後は、楽しみにしていた桃狩りでした。桃の実一つ一つに袋がかかっているんだなと思いました。

櫛形の人達が小笠原に来た時には、母島ならパッションやマンゴーやメロンを食べてもらいたいと思いました。

夜は、櫛形中学校の人達との交流バーベキューがありました。櫛形中学校では、ブラスバンド部の人達が演奏をして出迎えてくれました。とても上手でした。

ここで雨がふってきてしまったので教室でバーベキューを食べました。とてもおいしかったです。

三日目は、バスで県内めぐりをしました。でも、霧がかかっていたのでバスの中からは何も見えなかったし、リフトに乗れなかったのが残念でした。

四日目は、午前中に町役場と櫛形中にあいさつに行って、交流は終わりました。この時、私達母島から櫛形中へハカラメを渡しました。喜んでくれるといいなと思いました。三日間でしたがとても楽しかったです。

次回の交流会は、櫛形の人達が母島に来ます。その時は、櫛形中の人達が楽しめるような企画をしてあげたいと思いました。

バスで約三十分、やっと櫛形中学校に着きました。

私はちゃんと交流できるかなぁとちょっと不安でした。でも櫛形中の代表の人があいさつをしているのを見てすごく感じが良かったのでホッとしました。

宿へ戻って私は、

「明日は一人でも多く友達を作るぞぉ」と気合が入っていました。

そしてやっと待ちに待っていた櫛形中の人達との交流です。私は少しドキドキしていました。ブラスバンドの演奏を聞いたりあいさつをしたりした後、バーベキュー大会がありました。私は母島の三人と父島の山田礼子ちゃんと櫛形中の人二人と一緒に座り、櫛形中の人と話しをしたり住所を教えあったりと楽しいひとときでした。

でも自分で満足できるほど交流はできませんでした。その事はまだ少し心残りがあります。

次の日は櫛形中の人達と一緒に櫛形町を見学をしました。みんなで買い物に行ったり、ソフトクリームを食べたりしました。でもその時もあまり交流はできませんでした。話したことは話したのですが…。

バスの中でも父島の人はよくしゃべっていたのですが、私達はほんの少ししかしゃべれませんでした。

その時私は父島の人はすぐに話しかけたりできてすごいなぁと思いました。私もあんなふうに誰にでも気軽に話せるようになりたいなぁとつくづく思いました。そうしたらこの交流会だってもっと楽しかったかもしれないのにと思いました。

結局、最後の最後までそんな親しい友達はできませんでした。だからすごく残念です。

もし、来年も交流があったら今回の経験を生かし今度こそいっぱい友達を作りたいです。でも今回交流した人達は中学三年生だったので来年もしあっても会えないんだなと思うと残念です。でも今度来た人達にはなるべく色々なことをお互い教えたり教わったりしたいです。

それから私達の後、櫛形中との交流をひきついで行ってくれる人達は私のように心残りがないように充実した交流会にしてほしいです。

小笠原のいま・昔（四）

総合事務所はどんな機関？

新たに島を訪れた人や最近島民となった人は小笠原総合事務所が国の総合行政機関であることを知らない人が多い。総合事務所という名称だけでは仕事が分かりにくいので、その業務内容の今と昔を紹介しましょう。

小笠原は東京から一千キロと遠く離れ、東京との交通手段は昭和四三年当時は月一度のチャーター船、昭和四十七年から定期船となりましたが、航空機も飛ばない隔絶した太平洋上の孤島です。内地と同様の国の行政サービスを島民が受けられるように設置されたのが小笠原総合事務所です。現在次の業務を行っています。

①土地（国有地を除く）の権利関係の調整と国有地の使用承認（大蔵省）
②出入国管理及び外国人の在留管理（法務省）
③外国からの船舶等の検疫（厚生省）
④植物防疫（農林水産省）
⑤労働基準・労働災害・雇用保険（労働省）
⑥国有林野管理（農林水産省）
⑦郵便局業務（郵政省）

各省庁が各々事務所を設置することはサービスを受ける島民人口が少ない故、経費の割りに非効率です。そこで「小笠原諸島の復帰に伴う法令の適用の暫定措置等に関する法律」により、総合事務所が各省庁の行政サービスを扱う地方支部局とされました。数省庁に跨がる業務を併任や兼務によって必要最小限の職員で処理しています。

復帰当時は自治大臣直轄機関でしたが、昭和四十九年国土庁発足に伴い同庁の特別の機関とされ今日に至っています。なお、国土庁組織下にありながら任命権者が内閣総理大臣という事実上内閣直轄の組織になっています。

復帰時から昭和五十四年四月二十二日の小笠原村が地方自治法上認知される時までは次の業務も所掌していました。

○土地建物・法人等の登記相談（法務省）。同年八月まで。
○戸籍及び死産届出（法務省）
○人口動態調査（厚生省）

後二項の業務を村役場に移管した日は同年六月一日でした。

この他に総合事務所の所掌事務となっていない大蔵省税関業務は復帰時から現在まで東京税関の出張職員が三ケ月交替（初めの頃は二ケ月）で当所内に常駐し税関業務を行っています。

昨今はスリムで効率的な行政改革運営が検討されていますが、当事務所は最初からその観点から設置されたリーディングケースと言えるでしょう。復帰三十年を来年に控えこのような地味なサービスを続けてきた総合事務所を再認識して下さい。

（玉木純雄）

不動産登記、商業・法人登記に関する相談について

台風二十号の影響のため延期となりました東京法務局による、不動産登記及び商業・法人登記に関する行政相談を左記のとおり実施します。

不動産などの登記について相談等がありましたら、この機会にぜひご利用下さい。

記

日時　十月十七日（金）
午前九時～午後五時まで
（昼休みを除く）

場所　村役場第二庁舎会議室

問合せ先　総務課税務係
☎（二）三一一一

「巡回無料法律相談」のお知らせ

東京都弁護士会（財）法律扶助協会及び小笠原村の共催による「巡回無料法律相談」を左記のとおり実施いたします。

民事・刑事・労働・家事等のあらゆる分やでの法律相談が受けられますので、相談のある方はぜひこの機会にご利用下さい。

記

日時及び場所
父島　十月二十八日（火）
午前十時～午後四時まで
村役場第二庁舎会議室
母島　十月二十九日（水）
午前十時～午後四時まで
母島支所二階小会議室

問合せ先　村民課住民係
☎（二）三一一三

小笠原諸島返還三十周年記念事業について

小笠原諸島返還三十周年記念事業実行委員会では、事業テーマ「世界の交流アイランド小笠原ー自立への展望」に基づき、次のような基本テーマをあげ、

一、地域基盤づくり
　小笠原の美しい自然を保持しながら、新たな産業の発展を模索し地域の活性化に結びつける。
二、固有の資源・歴史伝統の再発見及び普及啓発
　小笠原固有の歴史・伝統、恵まれた自然資源を再度見つめ直すことにより、これを次世代へ継承する。
三、交流づくり
　メイン事業である返還三十周年記念式典の開催、インターネットを利用した記念事業の広報及び、各種スポーツ大会の開催等。

これに沿った記念事業を各部会ごとに検討し、実施していくことになりますが、返還三十周年記念事業は、村民みんなで考え、村民みんなが参加することを大前提に考えておりますので、村民皆さんのご意見、ご希望をお聞かせ下さい。

なお、九月村議会にて返還三十周年記念事業実行委員会事務所の開設準備予算が議決されましたので、現在10月中旬をめどに開設準備を進めております。事務所が開設され次第、返還三十周年記念事業広報誌の発行を予定しております。広報誌にて実行委員会の詳細な情報及び、記念事業のシンボルマークやキャッチコピーの公募をいたします。

小笠原諸島返還三十周年記念事業実行委員会事務局
☎（二）三一一一

危険な漂着物

小笠原の海岸には、海流に乗って様々なものが漂着します。はるか台湾や中国南部のものなど興味深い漂着物も少なくありません。時として、爆発物や薬品類といった危険物が漂着することがあります。さる九月には洲崎に危険物らしき物が漂着しました。幸い今まで事故は起きていませんが、一歩取扱いを誤ると大変な事故につながる可能性があります。もし、不審な漂着物を見つけたら、触ったり、動かしたりせず、すぐに通報して下さい。

村役場総務課　☎（二）三一一一
村役場母島支所　☎（三）二一一一
小笠原海上保安署　☎（二）二八七〇

平成九年度東京都立大学島しょ公開講演会の開催について

東京都立大学では、教育・文化・経済・福祉・都市問題・科学技術等さまざまな分野において、研究成果を広く都民に還元することを目的とした、島しょ公開講演会を毎年開催しています。

平成九年度は、小笠原村で、二日間にわたって開催されることになりました。皆様、ふるってご参加下さい。

●開催日時
父島
平成九年十月二十八日（火）
母島
平成九年十月二十九日（水）
講演時間
午後七時～九時
●会場
父島　小笠原ビジターセンター
母島　村民会館
●講演テーマ・講師
テーマ　「小笠原の子供たちと小笠原の未来」
講師　尾見　康博（人文学部　助手）

問合せ先
企画財政課　☎（二）三一一二

「ふれあいINクルージング」の実施について

（財）東京都島しょ振興公社では、後継者育成事業として平成六年度から実施しておりますお見合い事業「ふれあいINクルージング」を今年度も次のとおり実施いたします。参加ご希望の方は申込方法のとおりお申込み下さい。

一、目的
　島在住の男性と島内外在住の女性との出会いの場を設け、島しょ地域の後継者の育成を図る。
二、日程
　平成九年十一月十五日（土）
　午後二時半～六時半まで
三、場所
　「シンフォニークルーズ」（東京港日の出桟橋発着）
四、募集人数
　八十名（男女各四十名）
五、参加資格（各島からの参加者）
　男性、女性とも概ね二十五歳から四十歳までの独身の方
六、参加費
　二千円
　ただし会場までの交通費、宿泊費等は参加者の負担となります。
七、申込方法
　所定の申込用紙により東京都島しょ振興公社へ郵送でお申込み下さい
　（申込用紙は、村役場総務課、母島支所、または東京都島しょ振興公社でお渡しします。）
　平成九年十月三十一日締切り（必着）
八、参加者決定
　平成九年十一月七日までに決定し、直ちにご本人あてに連絡いたします。
　申込者多数の場合は、各島の申込者数を考慮のうえ、調整させていただきます。

問合せ先
（財）東京都島しょ振興公社
担当　島村
☎〇三（五四七二）六五四六

平成九年度地域振興に係る補助事業（下期分）の募集について！

（財）東京都島しょ振興公社では、東京都島しょ地域の各町村長が認める団体・グループが実施する事業に対し、予算の範囲内において事業費の全部又は一部を補助する事業を行います。

補助の条件等は左記のとおりです。

「交付対象となる団体・グループ」
（一）公社が補助する団体として相応しい団体。
（二）概ね五名以上で組織し、代表者・会則等のあるグループのうち、公社が補助する事業に相応しい計画等を持つグループ。

「交付対象事業」
（一）地域振興に係る特産品の開発に関する事業
（二）地域振興に係る観光の振興に関する事業
（三）地域振興に係る島おこしを担う人材育成に関する事業

「補助率」
補助対象経費の五分の四以内とし、その補助額は一〇〇万円を限度とする。ただし、地域振興に係る補助事業のうち、観光振興・人材育成事業において視察に関するものは、補助額の上限を六十万円とする。

「提出書類」
計画書（様式あり）
収支計画
会の規約
会員名簿

「提出期限」
平成九年十月二十二日（水）

「提出先」
村役場企画財政課企画係
村役場母島支所庶務係

「注意事項」
振興公社では、提出された計画書をもとに補助事業の対象にするかどうか審査、決定しますので、計画書には事業目的や事業内容を詳しく明示して下さい。

「問い合わせ先」
企画財政課企画係
☎（二）三一一二

村長出張報告（九月）

九月一日（月）～十二日（金）

一日（月）
おがさわら丸にて上京
三日（水）
都庁各局（テレビ負担金軽減、三十周年事業等要望）
四日（木）
厚生省（硫黄島遺骨収集要望）
国土庁（振興法延長要望等）
五日（金）
防衛庁（硫黄島遺骨収集・墓参支援要望）
東京都知事との懇談会出席
六日（土）公務休み
七日（日）
友好都市櫛方町訪問
八日（月）
友好都市櫛方町訪問
川島忠一都議会議員訪問
九日（火）
自治省（基地交付金等増額要望）
栗本慎一郎衆議院議員訪問
（基地交付金他要望）
東京都総務局行政部（基地交付金他要望）
十日（水）
都庁各局（諸般要望）
十一日（木）
おがさわら丸にて帰島

パスポートの出張申請及び交付について

東京都生活文化局旅券課では、例年島しょ地区でパスポート発給サービスの向上を図るため、出張による申請及び交付を左記のとおり行います。

記

申請
母島　十一月二十一日（金）
　午後四時～五時
　十一月二十二日（土）
　午前八時三十分～午前九時三十分
　場所：母島支所
父島　十一月二十二日（土）
　午後三時～六時
　場所：村役場第二庁舎

交付
母島　十二月十二日（金）
　午前八時三十分～午前九時三十分
　場所：母島支所
父島　十二月十二日（金）
　午後三時～六時
　場所：村役場第二庁舎

申請には
①申請書
②戸籍謄（抄）本
③住民票
④写真⑤官製はがき⑥印鑑
⑦身元確認の書類
⑧前回取得したパスポート
が必要です。

※申請日までに必要なものをそろえておいてください。
※本籍が小笠原村にない方は、村役場で戸籍謄（抄）本がとれません。早めに入手しておいてください。
※詳しくはお問合せください。

問合せ先
村民課　（二）三一一三
母島支所　（三）二一一一

乳幼児健康診査のお知らせ

【父島】
十月十四日（火）
午後一時四十五分から
会場　保健所
なお、対象者には、個別に通知いたします。

母親学級開催のお知らせ

【父島】
十月　二日（木）
午後二時～四時まで
十五日（木）
午後二時～四時まで
二十二日（水）
午前十時～正午まで
なお、対象者には、個別に通知いたします。

問合せ先
村民課住民係
☎（二）三一一三

「マイ・バック・キャンペーン」（自分のバックでお買物。）にご協力を

ごみの減量を推進するために、都民・事業者・行政で構成する東京ごみ会議（議長　東京都知事　青島幸男）は、十月一日から十月三十一日の一か月、東京都全域で「マイ・バック・キャンペーン」を行います。これは、ごみを減らすために、買い物のときは買い物袋を持参し、お店などではレジ袋など手渡さないようにする運動をとおして、ごみ問題をより多くの人に考えていただこうというものです。

ごみ問題の解決は、一人ひとりの行動にかかっています。
お店でレジ袋などをあたりまえのように貰ったり、渡したりしていませんか？ちょっとした行動をもう一度見直してください。

詳細・東京ごみ会議事務局
☎〇三（五三二〇）五七一五
（東京都清掃局ごみ減量総合対策室企画担当課）

リユース品（不用品）展示会について

これまで村民の皆様に譲っていただいていた、不用品（家具等）のリユース（再使用する、繰り返して使う）展示会を行います。お誘い合せのうえご来場下さい。

◎展示期間
十月五日（日）
～九日（木）午後四時まで
※なお、初日の五日（日）は、フリーマーケット開催とあわせて実施いたします。

◎場　所
村役場ホール

◎出展品目

ベビーベット	六点
テーブル	二点
机	二点
いす	二点
タンス（大）	一点
タンス（小）	二点
食器棚	一点
レンジ台	一点
こたつ	一点
二段ベット	一点
洗濯機	一点
VHSビデオ	二点
畳	一点

（※畳は四枚で一点とさせていただきます）

◎申込み方法
①申込まれる方は、確実に使っていただける方とします。
②展示品の申込みは、一家庭につき二点までとします。また、同じ品目（畳は除く）については一点のみとします。
③村役場ホールにて、申込み書に必要事項を記入していただきます。展示品への申込みは、展示期間終了と同時に締め切らせていただきます。
④希望者多数の品目については、抽選を行います。
（抽選日は十月九日（木）午後四時）
⑤当選された方には、抽選後、電話でお知らせいたします。
なお、当選者には、無料で差し上げます。

◎その他
・申込みの際に、同じ品物を二枚申し込んだ方、又は品物を三点以上申し込んだ方は、失格となります。
・品物は原則当選者引き取りとしますが、大物（タンス等）については、希望があれば役場で運搬いたします。
・展示品には若干の清掃等はしておりますが、傷、破損、汚れ等がある場合もあります。また、電気製品等は、引取り後、故障等も考えられます。あらかじめご承知おきください。

今後も、引き続き家具等の不用品（使用できるもの）の引取りを行います。

リサイクル（再利用）リユース（再使用）にご協力を！

問合せ先
産業観光課産業観光係
☎（二）三一一四

小笠原自然観察指導員講習会参加者募集のお知らせ

小笠原村と（財）日本自然保護協会（NACS-J）の共催によって、自然保護の基本的な考え方や自然観察の方法を研修する自然観察指導員講習会が母島で開催されます。

講習を修了した方は、自然保護普及の中心となる自然観察指導員として登録されます。

一人でも多くの方にご参加いただき、東洋のガラパゴスと称される小笠原の素晴らしい自然への理解を深めていただくことを期待します。

募集期間
①村内参加者について
村役場・支所窓口にて開催要項を配布します。
参加を希望される方は、要項に添付されている申込用紙に必要事項をご記入の上、十月三十一日までに産業観光課・母島支所までお申込下さい。
十一月上旬に参加者が決定します。（個別にご連絡します）

募集対象
①十八歳以上で期間中の全ての講習及び野外実技を受講できる方
②自然保護教育の必要性を認識し、自然観察会活動の推進に意欲がある方

募集人数
約五十人
（村内四十人、村外十人）

実施日程
平成九年十一月二十一日～二十三日

実施場所
小笠原諸島母島

参加費用
宿泊費・交通費・テキスト代・NACS-J会費・NACS-J自然観察指導員登録料を負担していただきます。（詳しくは開催要項をご覧下さい。）

問合せ先
産業観光課産業観光係
☎（二）三一一四
母島支所
☎（三）二一一一

平成九年度第二回 シロアリ対策事業のお知らせ

平成九年度第二回目のシロアリ対策の実施日程等が決まりました。今年の羽アリシーズンには、皆様もお気付きのとおり、大村（西町・東町）地区や奥村地区の一部で、羽アリの発生が少なくなりました。これは、樹木の根元や幹中にある巣の駆除（樹木対策）を実施し、シロアリ対策を『面』として捉らえて、事業を推進した結果です。

シロアリ天国の父島では、いくらコンクリートで家を固めても、家を薬剤で充満させても、残念ながらイエシロアリは、一枚ウワテです。コンクリートの隙間や、薬の行き届かなかった所を探し、気付かぬ間に家屋に侵入し、あなたの財産を食い荒らします。

シロアリ対策、特にイエシロアリの予防・駆除は、周辺環境対策を含めて考えないと、効果がありません。防蟻処理を行うだけでは、不十分なのです。シロアリ対策でお悩みの方は、防蟻処理を予定している方、家を新築される方などは、この機会にぜひ、イエシロアリの専門家にご相談下さい。

実施内容・日程等

第二回　防除業者駐在期間
十月　十六日（木）入港から
二十四日（金）出港まで

対策事業内容
①シロアリ対策区域内公有地の樹木の巣の防除処理。
②シロアリ対策区域内民有地の樹木の巣の防除処理。
（保証はありません。皆様からの申込みに基づき、被害状況を判定し、実施を決定します。）
③シロアリに関する相談全般。
（被害兆候の探知方法、羽アリ対策、新築家屋の計画など、何でも受け付けます。）
④必要がある場合、相談だけではなく、家屋の点検も受け付けます。イエシロアリ、ダイコクシロアリ共に、被害にお困りの方は村役場へご相談下さい。
⑤保証を行う家屋防蟻処理。

申込先
②～④は村役場産業観光課
②～⑤は小笠原村商工会
日程の調整を行いますので、なるべくお早めにお申し込下さい。申込書が用意してありますので、印鑑をご持参願います。

作業従事者
今回来島下さるのは、次の方々です。
中部しろありセンター
日比野士郎氏（名古屋市）
宮崎病害虫防除コンサルタント
児玉純一氏（宮崎市）
ほか三名

日比野氏も児玉氏も、既に何度も来島いただいております。お顔見知りの方は、作業を行っている時でも結構ですから、ぜひ、声をお掛けいただき、シロアリに関する質問など、なさって下さい。

また、同時期に九州大学名誉教授森本桂先生が来島されます。先生は昆虫学の権威で、特にシロアリ類にも明るいため、村がお招きするものです。先生は母島の調査も予定されています。

＊　＊

これまでも、度々村民だよりでお知らせしてきたとおり、シロアリの被害は、日頃から注意を払っていれば、未然に防ぐことができます。「自分の財産は自分で守る」心がけで、日頃からシロアリに注意しましょう。

シロアリ対策についてお困りの事がありましたら、何でもご相談下さい。商工会や村は、そのお手伝いをいたします。

産業観光課産業観光係　☎（二）三一一四
母島支所庶務係　☎（三）二一一一
小笠原村商工会　☎（二）二六六六

全村民の注意と努力で イエシロアリの母島侵入を防ごう！

さる七月七日、父島二見港第一物揚場から母島に向けて、イエシロアリの食害痕のある古材木が、母島に向けて船積されようとしていました。材料は二十数本あり、番線で固定されていたため、全部を確認できませんでしたが、その内の一本の外側に面した部分に、イエシロアリの明らかな食害痕があったのです。しかし、翌八日には、食害痕のある一本だけを外し、残りの古木材は母島に運ばれてしまいました。

村や商工会では、以前かははじま丸や共勝丸の手すりに、母島への古材木の持ち込みや、イエシロアリの蔓延防止を訴える看板を掲出してきました。

しかし、なかなかご理解いただけなかったようです。

村では、平成四年度よりシロアリに関する調査を開始し、吉野利夫先生（吉野白蟻研究所）などから指導を受ける中で、イエシロアリの生息区域拡大に関する情報を得ています。食害痕のある古材木には、イエシロアリの集団（コロニー）が生息している可能性があります。当然のことながら、母島へ集団が持ち込まれれば、確実に母島は生息区域となります。

また、七月上旬は羽アリのスオーム（飛翔）シーズンでした。羽アリのオス・メス一対が材木に住み込み、その二匹が王と女王になり、産卵を続けることにより、最終的には一〇〇万匹の集団になるのです。父島で保管された古材木が母島へ持ち込まれるのは、大変危険であることが、お判りいただけたかと思います。

材木に潜り込んだ羽アリは見えませんし、確認できません。「羽アリのオス・メス一対を母島へ持ち込まない」ということは、父島から母島へは、古材木は持ち込んではならないということなのです。

現在、父島島民はどうしてこれ程までに、イエシロアリの被害に悩まなければならないのでしょうか？父島での蔓延は、昭和三十年、米軍がシロアリの付いた材木を持ち込んだことが発端なのです。

イエシロアリの集団や羽アリは、父島で育成された植木（ハイビスカス等）の根元に付いていることもありますので、苗木も移動させないで下さい。千葉県舘山市周辺のイエシロアリは、あるホテルの庭に植えるシュロの木を、奄美大島から移植したところ、それにイエシロアリが付いていて、蔓延したことが判っています。

母島に、父島や舘山市の過ちを繰り返させてはなりません。それでなくても「これまでに侵入しなかったのが不思議」と言われている地域（母島）です。一度侵入してしまったら、絶滅させることは不可能です。イエシロアリの侵入を、何としても防がなければならない理由を列記します。

①母島の家屋（民家）には、木造家屋が多い。
②五年毎に防蟻処理をしていない家屋が多い。
③木材の屋外保管が多く、一気に蔓延する可能性がある。
④餌となる植物（樹木）が父島よりも密集している。
⑤沖村地区は父島よりも気温が高く、生息に適している。
⑥将来にわたり、農作物への甚大な被害が発生する。防風林のタマナに営巣されると、畑が使えなくなることがある。

＊　＊　＊

なお、今回問題となった古材木は、荷主のご理解を得て、翌九日に父島に搬出されました。

今後、村では商工会と連携し、母島へのイエシロアリの蔓延防止に努めます。村民の皆様の、ご理解とご協力をお願いいたします。

産業観光課産業観光係　☎（二）三一一四
母島支所庶務係　☎（三）二一一一
母島白蟻対策調査委員（商工会内）　☎（二）二六六六

イエシロアリの母島侵入を村民あげて防止しよう！

野山羊駆除の実施について

父島に生息するの山羊の駆除を次の時期に実施します。

実施日時及び実施地域については、防災無線でお知らせいたします。また、実施する際には、地域の入口などに「実施中」の立看板を立てますので、その地域に入ったり、近づいたりしないようにして下さい。

実施については、皆様にご迷惑がかからないよう細心の注意を心掛けますので、ご協力をお願いいたします。

実施期間
平成九年十月中旬～
平成十年三月三十一日

問合せ先
産業観光課産業観光係　☎（二）三一一四

専門診療のお知らせ
（耳鼻咽喉科）

十月十六日～二十二日まで耳鼻咽喉科の専門診療を行います。日程は左記のとおりです。

記

「母島」
十月十六・十七日
「父島」
十月二十・二十一・二十二日
受付時間
母島　十六日　午後五時～七時
　　十七日　午前八時半～十時
父島　全日程　午前八時半～十一時
　　午後一時半～三時半
実施場所
診療所
なお、この専門診療は保険診療となりますので、受診される方は保険証をご持参下さい。
問合せ先
小笠原村診療所　☎（二）三八〇〇
母島診療所　☎（三）二一一五

肝臓病専門医巡回相談のご案内

保健所では、年一回の肝臓病専門巡回相談を十月に実施いたします。

肝臓病の予防や治療のためには、自分の病名や状態の把握が「肝心」です。肝臓に心配のある方は、この機会をぜひお役立て下さい。

◇巡回相談の日程

「事前診査」九月より受付中。
父島・母島ともに診療所「肝臓病巡回相談の事前検査」と申込み、次の締切日までに朝食を取らずに検査を受けて下さい。
父島　十月六日（月）午前十時まで
母島　十月六日（月）午前九時まで

［個別相談］
父島　十月二十八日（火）午前八時より
母島　十月二十九日（水）午前十時より
事前に予約時間をお知らせします。
お問合せは、保健所保健婦までご連絡下さい。

全国地域安全運動の実施について

きたる十月十一日（土）から十月二十日までの十日間、全国地域安全運動が実施されます。

この運動の重点は、空き巣　ひったくり　自転車盗などの防止です。

小笠原村も最近では事件、事故が増加してきています。

小笠原警察署、小笠原防犯協会では、関係団体等の協力を得て、「安全で　明るく　住みよい　小笠原」を目指して地域ぐるみの安全活動を展開していきますので、村民の皆様のご協力をお願いいたします。

※十月十二日（日）午前九時半～午前十一時半までの間、東町生協前横三角広場において自転車の防犯登録を行います。まだ登録されていない方はぜひこの機会にご協力して下さい。（手数料は、五百円です。）

問合せ先
小笠原警察署・小笠原防犯協会　☎（二）二〇一〇

原付免許試験のお知らせ

実施日時
十月十二日（日）
午前八時三十分～午前九時まで受付
※時間に遅れた方は受験できません。
場所
小笠原警察署二階講堂
必要なもの
・住民票（本籍記載のもの）
・写真一枚（縦三・〇cm×二・四cm　無背景）
・黒ボールペン
・受験手数料　七、三〇〇円
内訳
受験料　一、六〇〇円
免許交付料　一、八〇〇円
実技講習料　三、九〇〇円
※お釣りの内容に願います。

実技講習の実施
学科試験合格者に対し、実技講習を実施しますので、運転に適した服装で受験をお願いします。

問合せ先
小笠原警察署　交通係　☎（二）二〇一〇
※受験希望の方はなるべく早めに申込みをお願いします。

郵便局からのお知らせ

臨時窓口の開設

十月のおがさわら丸の入出港にあせて、左記のとおり郵便の取扱いを行いますのでご利用下さい。

十月　五日（日）　午前十時～午後一時
　十二日（日）　午前十時～午後一時

取扱い郵便の種類
一般郵便物・書留郵便
チルド郵パック・普通小包

なお、十月十一日（土）十八日（土）の窓口は休業いたしますのでご了承ください。

新郵便番号簿の配布

平成十年二月二日から新郵便番号簿（ぽすたるガイド）を全戸にお配りいたしておりますのでまだお受取になっていない方は郵便局にお申し出下さい。

今後とも新郵便番号制度が定着し安定的なサービスができますよう皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ先
小笠原郵便局　☎（二）二一〇一

東京都児童相談センターによる巡回相談の実施について

東京都巡回相談センターによる巡回相談を左記のとおり実施いたします。育児、しつけなどの子どもに関する相談を希望される方は、この機会をご利用下さい。

記

日時及び場所
父島
日時　十月二十八日（火）午前九時～正午
場所　父島村民会館
母島
日時　十月二十九日（水）午前十時三十分～正午
場所　母島支所会議室

問合せ先
小笠原支庁総務課行政係　☎（二）二一二一

住民意向調査にご協力のお願い

小笠原諸島については、日本に返還になった翌年の昭和四十四年以来、特別措置法に基づき上下水道や都営住宅などの生活基盤や産業基盤等の整備を進めてまいりました。

東京都といたしましては、二十一世紀を目の前に控え、小笠原諸島のさらなる振興と発展のために、今後の振興策を検討するにあたって、皆様の貴重なご意見をお聞かせいただきたく、実施するものでございます。

ご多忙のおりとは存じますが、この調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査対象となる方は平成九年八月一日現在、小笠原村に住所を有する十五歳以上（中学生は含みません）の住民の方です。

調査の結果は、この目的以外には使用しないことはもちろん、ご回答いただいた個人にご迷惑をおかけすることは決してございません。

調査票の配布は、十月五日頃から各家庭に配布します。

回答期限は、十月十六日（木）です。返信用封筒で回答下さい。

問合せ先
東京都総務局行政部地域振興課　小笠原振興係
☎〇三（五三八八）二四四五

マッコウクジラ観察会のお知らせ

マッコウクジラの船上からの観察会を、小笠原自然観察指導員連絡会（会長　山田捷夫）の協賛により行います。

日時　十月二十六日（日）午前八時～十二時三十分
集合場所
興洋岸壁アイランドクイーン前
講師
ホエールウォッチング協会　森恭一　氏
小笠原自然観察指導員　山田捷夫　氏
持ち物
飲み物、双眼鏡（ある方は）
酔い止め
料金　一、〇〇〇円
申込み
十月七日（火）午前十時に、小笠原ビジターセンターまで申込み下さい。申込み多数の場合は、その場で抽選とさせていただきます。
問合せ先
支庁土木課自然公園係　田中　☎（二）二一二三

小笠原小・中・高連合運動会

「一般参加種目のご案内」

連合運動会の季節がやってきました。今年も皆様に参加していただきたく種目を用意しましたのでご案内申し上げます。

日時
十月十一日（土）
午前八時五十分～
午後三時三十五分
雨天の場合は、翌十二日（日）に延期

場所
小笠原小中学校グランド

種目
徒競走・職場対抗リレー・
騎馬戦・地区別対抗綱引き

申込方法
・徒競走・職場対抗リレーについては、指定の申込用紙で高校へ申込下さい。（申込用紙は各事業所、商店に配布いたします。）
・騎馬戦・綱引きは、当日に受け付けます。

申込締切り日
十月六日（月）
締切日は必ずお守り下さい。

申込場所及び問合せ先
小笠原高等学校
☎（二）二三四六
（担当　長谷川）

※お願い
会場にテントを設営する場合は次のことをお守り下さい。
・テントの設営は、設営許可の場所にお願いいたします。
・設営にあたっては、相互お話合いの上多くの団体がテントを建てられますようにご協力下さい。
・テントの組立ては、当日午前七時よりお願いいたします。
・テントを前日に搬入する場合は、午後三時から五時の間にフェンス側に置いて下さい。
・搬入の際、トラックの乗り入れは、コンクリートの部分だけにして下さい。グランドへの乗り入れは、絶対にやめて下さい。
・テントは、閉会式終了後にたたんで下さい。

小笠原高等学校図書館開放

高校図書室は、毎週水曜日（午後五時から七時）、第一・第三・第五土曜日（午後二時から五時）を、村民の皆様に開放しています。本校図書室には、一万四千冊以上の蔵書があります。

また、皆様に一層くつろいで読書していただけるよう、ソファーや椅子も新しく購入いたしました。

水曜日の夕方や土曜日の午後、深まる秋に（？）読書などはいかがでしょうか。

どうぞご利用下さい。

◎新着図書紹介

高校図書室では、小笠原関係の歴史・自然・文化等の書物を購入し、充実させていきたいと考えています。この夏も、新たに五十冊以上の本を購入しましたが、まだまだ不十分と考えています。

そういった方面に詳しい方、どうぞ高校図書室までご一報下さい。

※長期休業期間中と学校行事等で休館することもありますので図書室内のお知らせをご覧下さい。

母島巡回労働相談のお知らせ

小笠原総合事務所では、毎月、「母島」において担当職員による労働相談を実施しております。十月の相談日時は次のとおりです。

なお、「父島」においては、随時相談をお受けしておりますので、小笠原総合事務所までお問合せください。

日　時
十月十三日（月）
午後五時～六時

会　場
母島村民会館二階和室

相談内容
労働条件（賃金、労働時間、安全衛生等）
労災保険（加入、労災給付等）
求人求職（求人求職申込）
雇用保険（加入、失業給付等）

問合せ先
小笠原総合事務所業務課
☎（二）二一〇二

テレビ視聴管理組合からのお知らせ

太陽妨害現象により、左記の時間放送が中断、瞬断することがありますので、ご了承下さい。

父島
予想日
十月三日（金）～六日（月）
予想時刻
午後十二時二十二分前後から約六分間

母島
予想日
十月二日（木）～六日（月）
予想時刻
午後十二時二十二分前後から約六分間

問合せ先
テレビ視聴管理組合
☎（二）三五一〇

フリーマーケット開催します

押し入れの中で眠っている物を整理しませんか。他の人はそれを捜しているのかもしれません。

散歩の途中寄ってみませんか、掘り出し物が見つかるかもしれません。

出店するのも見にくるのもきっと楽しいと思います。多勢の人の参加を待っています。

日時
十月五日（日）
正午～午後四時
（雨天の場合十月十日）

場所
村役場第二庁舎下駐車場

問合せ先
千葉　☎（二）二六二八
永合　☎（二）三〇〇五

☆父島村民会館図書室より

・もっと本を読む子どもに……終

三、四歳の時期が、子どもに本を読んであげ始めやすい年齢です。お昼寝の前に一冊、夜寝る前に一冊。毎日のように絵本を読んだら、いつのまにか、親子で絵本の魅力に夢中になります。

三、四歳向けの絵本は、絵がとってもきれいでかわいく、言葉が美しく繰り返し、まるで詩のような本が多いです。読んでいるうちに、読み手もやさしい気持ちになるので、子守歌のように、子どももすぐに眠りにつくでしょう。

子ども図書室には、すばらしい絵本がたくさんあります。

類いまれな大自然と海、そしてたくさんの本や絵本を糧にして、ぜひ「豊かな心」の子どもたちを育てて下さい。

・三、四歳児に読んであげられる本のなかから・・・

「あおくんときいろちゃん」
レオ・レオーニ
「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」
バージニア・バートン
「いたずらこねこ」
クック
「おばけのバーバパパ」
チゾン
「おやすみなさいおつきさま」
マーガレット・W・ブラウン
「かさじぞう」
瀬田貞二再話
「ぐりとぐら」
なかがわりえこ
「三びきのやぎのがらがらどん」
北欧民話
「しょうぼうじどうしゃじぶた」
渡辺茂男
「だるまちゃんとてんぐちゃん」
加古里子
「てぶくろ」
ウクライナ民謡
「ニャーンといったのはだーれ」
ステーエフ
「はけたよはけたよ」
かんざわとしこ
「はじめてのおつかい」
筒井頼子
「はなをくんくん」
クラウス
「はらぺあおむし」
カール
「まりーちゃんとひつじ」
フランソワーズ

・体育の日にちなんで……
（スポーツコーナーから）
「スポーツをつかめ」広畑成志
「さらば麗しきウィンブルドン」深田祐介
「野茂イチローの力学ベースボール」小岩利夫
「写真でみるなわ飛び」渡辺巌
「カラー版ストレッチング」井街悠
「度・日で覚えるマウンテンバイク」アンディ・ブル
（子ども図書室から）
「めざせワールドカップ　ヤングJリーガー」京ヶ島宏
「最後はバカが勝つ」大仁田厚
「サッカーの達人」釜本邦茂
「小学生・スポーツ全集」一～十二　ポプラ社
「少年少女の体育・スポーツ全集」一～十　岩崎書店

※ほかにも多数あります。各コーナーの図書室をどうぞご利用下さい。

天気図の配付について

今年度、小笠原には台風一号に始まり、いくつかの台風が接近し被害をもたらしています。

緩じ込みました天気図は、村またテレビからの情報に役立てていただければと考え配付いたしますどうぞご活用下さい。

総務課総務係

第20回 成人病ドック

“小笠原 健康な村づくり”

循環器，消化器
婦人科(子宮がん，乳がん)　　健康診断
呼吸器(肺がん，住民結核検診)

主催：小笠原村・財団法人東京顕微鏡院
協力：島しょ保健所小笠原出張所

たしかめていますか？あなたの健康

今年も下記の日程で成人病ドックを実施します。この機会に、自覚症状の有無にかかわらず、年に一回の健康チェックを行いましょう。

対象となる方

循環器，消化器系検診　→原則として３０才以上の村民
婦人科検診(子宮がん・乳がん)　→　〃
呼吸器検診(肺がん)　→原則として４０才以上の村民
〃　(住民結核検診)　→職場などで胸部レントゲン検査を受ける機会のない人

費用

いずれも無料

日程

	場所	母島				父島							
		11月 3日〔月曜日〕		11月 4日〔火曜日〕		11月 6日〔木曜日〕		11月 7日〔金曜日〕		11月 9日〔日曜日〕		11月１０日〔月曜日〕	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器	母)診療所	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
消化器	父)村民会館	○	○	○		○		○		○		○	
呼吸器													
肺がん	母)診療所	○		○		○	○	○	○	○	○	○	
結　核		○		○		○	○	○	○	○	○	○	
婦人科													
子宮がん	父)保健所	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
乳がん		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	

※ 午前の受付時間は8:00～11:00、午後の受付時間は13:00～15:00です。
※ １１月６日のみ、呼吸器健診の午後の受付時間は14:00～15:00です。

申し込み

健診当日の混雑を緩和するため、必ず事前に申し込みをお願いします。
（混雑時は予約した方を優先にさせていただきます。）
なお、申し込みは１０月２７日から、下記にて窓口または電話で受付けます。

【母島】　母島支所庶務係　☎３－２１１１
【父島】　村民課住民係　☎２－３１１３

ただし肺がん・結核検診・婦人科検診は事前申し込みの必要がありません。直接ご来場下さい。

小笠原空港の現状と今後のスケジュールについて

これまでの経過

小笠原空港の建設については、東京都が兄島を空港建設場所と決定した後、自然環境保全の観点から環境庁が兄島以外での島の建設を求める発言があり、東京都は建設場所について再検討することとしました。また、昨年１２月に策定された、第七次空港整備五箇年計画では、「小笠原空港」という具体的な名称は出なかったものの、「前計画の対象事業で未着手のもののうち、計画、地元条件等が整ったものについて毎年度予算の範囲内で順次着手する。」として、前計画に引き続きその必要性が認められ盛り込まれています。

現在、東京都は、兄島以外の島での空港建設の可能性について検討するため、「小笠原空港環境現況調査」を平成８、９年度と実施しています。東京都では、この調査結果を踏まえ、兄島空港案と比較検討の上最終的な空港建設地を決定するとしています。

空港建設の着手

村としては早期に空港が建設されるよう、第七次空港整備五箇年計画の計画期間内に東京都が空港建設に着手することを、強く望んでいます。

空港建設場所についての考え方

地形的な条件からは兄島案が最適ではないかという思いはありますが、今回実施している環境の専門家による調査の結果を踏まえて、東京都が空港候補地を決定するのであれば、その決定を受け入れたいと考えています。

村が、村民が何を考えるべきか

環境庁の見直し発言によって空港の完成を願う思いが、ややもすると、あきらめの気持ちに変わりやすい中、村民の皆様の絶え間ない熱意が空港建設に向けて大きな力となることを、再度認識していただきたいと思います。

そのためには、私たち村民は「空港は必ずできる」、「空港が欲しい」という思いを改めて強く持つ必要があります。

迷うことなく熱意をもって

小笠原における航空路の開設は、返還以来の悲願であり、医療・福祉をはじめとする村民生活の安定や産業の振興など、小笠原の自立発展に欠くことのできないものであります。

本土と小笠原を結ぶ交通機関検討の段階にあっては、飛行艇案や硫黄島経由案、さらには空路以外の手段としてテクノスーパーライナー（高速船）等もどうかという意見もありました。しかし、今は、私たちがそういう他の方法や手段に迷う時期ではありません。村民一丸となって空港を求めること、そしてそれを示すことが、東京都を、そして国を動かしていくことになります。

お願い

「村民の悲願」、この言葉を「小笠原空港」という言葉に今まで何回となくかぶせてきました。悲願であることの意味をもう一度考え、みなさんの一人一人の力を空港建設に結集していただきたいと思います。

村では、１１月中旬を目途に、再々度東京都他への陳情を考えております。その節には一人でも多くの村民のご協力を頂けるようお願いします。（詳細等は後日お知らせします。）

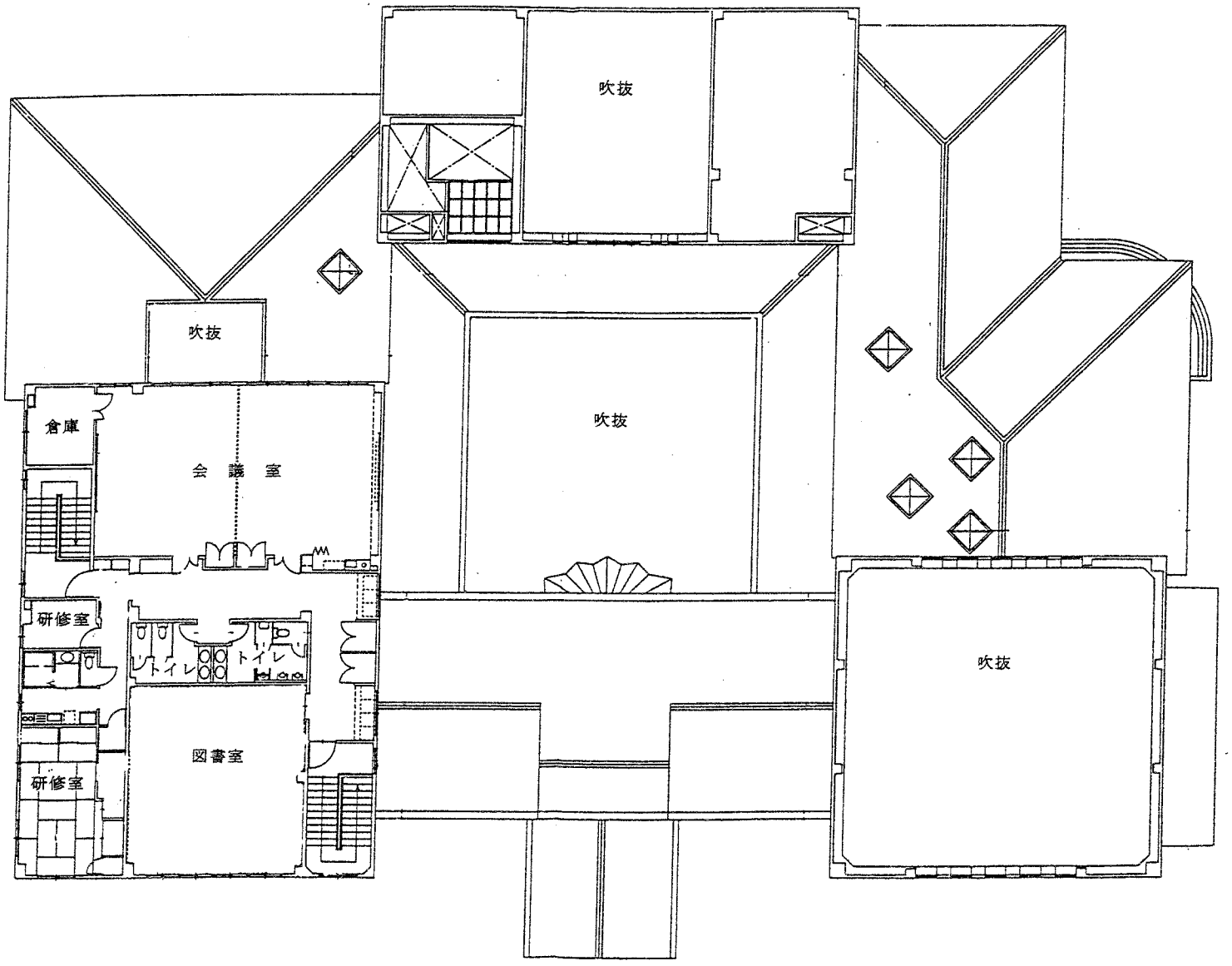
平成９年１０月１日

村民の皆さまへ

小笠原村長　宮澤昭一

――空港に関するお問合せは、小笠原村企画財政課へ（℡２－３１１１）

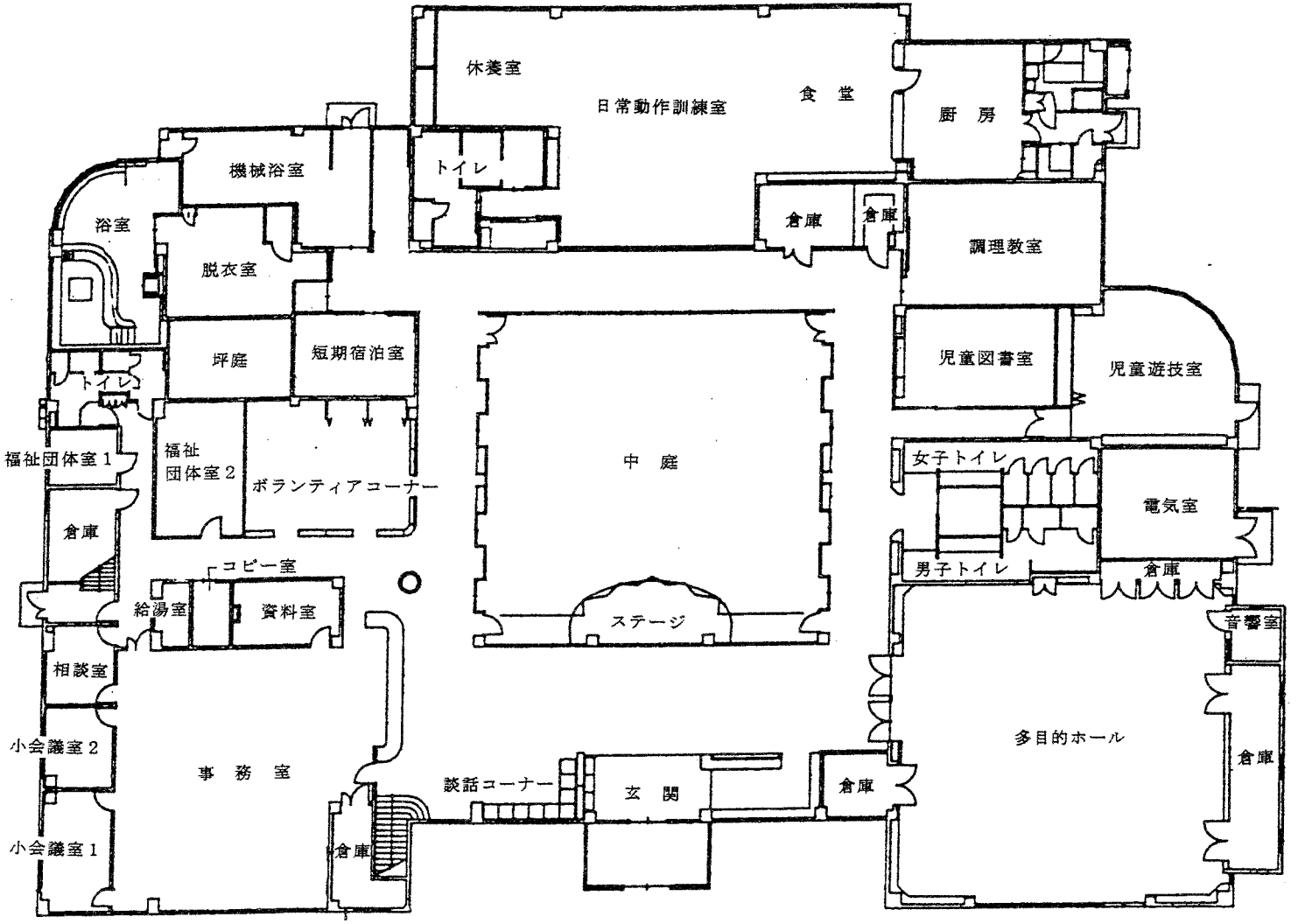
（仮称）小笠原村地域福祉センター　平面概略図（２階）



NO. 4

（仮称）小笠原村地域福祉センター　平面概略図（１階）

（海側）



（都道側）

3. 地域福祉センターの整備内容は次のとおりです。

【建物概要】

(1)設置場所…小笠原村父島字奥村（現在、整備工場のある場所です。）
(2)敷地面積…３，５７３㎡
(3)建物面積…延面積２，０４１㎡
(4)建物構造…鉄筋コンクリート造
(5)各室配置…別紙平面図のとおりです。

【事業概要】

具体的な実施事業の内容は、おおむね次の事業を予定しています。事業の詳細は、今後、地域福祉センター運営準備委員会等で検討し、決定していきます。

(1)村民全般の方のために
①場所の提供…会議、研修会、クラブ活動、軽スポーツ、結婚式等に使用していただくため、多目的ホール、会議室、研修室、中庭をその場所として提供します。
②図書貸出事業…一般図書の貸出しをします。
③相談事業…生活上の心配ごと等の相談を受けます。
④ボランティア活動支援…ボランティア活動の支援、活動場所の提供を行います。
⑤教養娯楽事業…教養や娯楽に資する講座等を行います。
⑥福祉情報提供…福祉に関する各種情報を提供します。

(2)幼児・児童の方のために
①健全育成事業…幼児・児童の健康を増進し、情操豊かな子供の育成に寄与する事業を行います。
②図書貸出事業…幼児・児童用図書の貸出しを行います。

(3)高齢者・障害者の方のために
①デイサービス事業…生活指導、日常動作訓練、入浴、食事等のサービスを提供します。
②ショートステイ事業…家庭で介護する方を支援するため、介護されている高齢者の方を短期間お預かりし、必要な介護のサービスを提供します。

以　上

１１月以降、地域福祉センターの建設工事が始まります。工事および運営方法の検討については、その進捗状況をこの「開設準備ニュース」を通して、随時、皆様方にお知らせいたします。

また、地域福祉センターの開設準備については、村民課に専任の担当職員が配置されておりますので、ご質問、ご意見等ございましたら、下記の担当までお問合せ下さい。

問合せ：村民課 地域福祉センター開設準備担当
樋口、遠藤 （TEL:２－３１１３）

※※※